

国立大学法人島根大学経営協議会（第108回）〈議事要録〉

日時 令和2年6月25日（木）14:00～ 16:00
場所 本部棟3F特別会議室（WEB会議）
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，長澤理事，宮協理事，
上野理事
大西委員，高塩委員，有澤委員，秦委員，松浦委員，三輪委員，谷口委員，
大矢委員
欠席者 福島委員
〔陪席：千家監事〕

議題（1）平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間に係る業務実績に関する報告書（案）について

- 荒瀬理事から，平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間に係る業務実績に関する報告書（案）について説明があった。
- 学外委員から，中期計画番号77番の危機管理体制について，新型コロナウイルス感染症等の想定されていなかった事態による様々な影響は，既存のBCPでは対応できていないため，令和2年度，令和3年度に向けてBCPの見直しが必要ではないかとの意見があった。学長から，BCPの見直しについては，今年度取り組んでいきたいとの回答があった。
- 6月末の文部科学省への報告書提出までに軽微な修正がある場合は，学長一任とすることとし，大きな修正がある場合は再度書面審議をすることとして原案どおり議決された。

議題（2）令和元事業年度決算書（財務諸表、決算報告書、事業報告書等）の提出について

- 長澤理事から，令和元事業年度決算書（財務諸表、決算報告書、事業報告書等）の提出について説明があった。
- 学外委員から，新型コロナウイルス感染症による附属病院の経営への影響について質問があり，井川理事から4月は経営的には良好であったが，5月は患者数の減少により前年度比で減収となっており，6月は前年度並みの収入が維持できるよう取り組んでいるとの回答があった。学外委員から，患者数の減少は構造的にやむを得ないため，経営に支障きたす場合には，附属病院のネットワークを通じて文部科学省や厚生労働省に補填を求めることも考える必要があるのではないかとの意見があった。
- 学外委員から，暦の標記について，議題1は平成31事業年度，議題2は令和元事業年度となっておりわかりにくいため，提出書類は先方の要望に合わせる必要があるが，和暦と西暦を併記する等，暦をわかりやすく標記する大学としてのルールを設けてはどうかとの意見があった。
- 学外委員から，附属病院の超過勤務手当との説明があった臨時損失は，「人件費に関する状況」のどの部分に該当するのか確認があった。長澤理事から，臨時損失は労働基準監督署からの指摘に基づく過年度分の超過勤務手当の支払いに関するものであり，「人件費に関する状況」には計上されていないとの回答があった。
- 上記の質疑応答の後，原案どおり議決された。

議 題（３）令和２年度補正予算（第１号）（案）について

- 長澤理事から、令和２年度補正予算（第１号）（案）について説明があった。
- 学外委員から、新型コロナウイルス感染症と周産期母子医療センターの改修はどう関連するのか、国等の補助は期待できないのか質問があった。井川理事から、新型コロナウイルス感染症の影響で減収が続くと周産期母子医療センターの改修に必要な経費が確保できない可能性があったため内部留保金の使用を申請したとの回答があった。続いて井川理事から、国等からの補填は相当のタイムラグがあり、加えて減収分の全てを補填してもらえないわけではないと考えられるとの回答があり、原案どおり議決された。

議 題（４）国立大学法人島根大学職員給与規程等の一部改正について

- 藤田理事から、国立大学法人島根大学職員給与規程等の一部改正について説明があった。
- 学外委員から、県議会で医療従事者に対し、慰労金として一人当たり２０万円を支給するという補正予算案が提出されていたが、当該慰労金が新設される手当の財源となるのか質問があった。井川理事から、附属病院の財源を使用することを考えているとの回答があり、原案どおり議決された。

議題（５）の前に、所用のため中座される学外委員から、報告事項４の「令和２年３月卒業・修了者の進路状況について（令和２年５月１日現在）」について、以下の質問があった。

- ・ 県内就職率低下の要因
- ・ 新型コロナウイルス感染症による学生への影響
- ・ 地元就職者数を増加させるための自治体から大学への支援の要望事項

上記質問に対して荒瀬理事から、以下のとおり回答があった。

- ・ 県内就職率の低下は、公務員・教員への就職率の低下が一因と考えている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による学生への影響については、現在アンケートを実施中である。
- ・ 県内就職率を上げるためには、県内出身者が県内に就職する割合が高いことから、入学者の県内比率を上げていくことも必要であり、また、学生に県内企業を知ってもらうことが重要であるため、この点についてご支援いただきたい。

議 題（５）職員宿舍の集約・維持等に係る基本方針の策定について

- 長澤理事から、職員宿舍の集約・維持等に係る基本方針の策定について説明があった。
- 学外委員から、入居率の目標設定はどの程度か、残す宿舍はBCPの観点から選定することも検討しているのか質問があった。長澤理事から、入居率の目標設定はしていないが、入居者の状況を踏まえて集約化していきたいとの回答があった。続いて長澤理事から、残す宿舍については、民間の意見を聴取し、資産運用面を考慮して適切に整備をしていきたいとの回答があり、原案どおり議決された。

報告事項（１）令和３年度施設整備事業等の概算要求に係る書面審議結果について

- 学長から、令和３年度施設整備事業等の概算要求に係る書面審議結果について報告があった。なお、長澤理事から、書面審議の際に「施設整備事業等の概算費用が分からな

いたため、経営に関わる判断ができず、情報提供が必要」との意見について、入札の関係上、資料での明記は避けているが、今後は口頭で説明する等の工夫をしたいとの回答があった。

報告事項（２）第３期中期目標期間における中期目標の達成状況報告書（案）について

- 本件については、議題１と重複するため、口頭での説明は省略された。
- 質問等があれば後日対応することとなった。

報告事項（３）「地方大学・地域産業創生交付金事業」令和元年度実績及び令和２年度計画について

- 秋重理事から、「地方大学・地域産業創生交付金事業」令和元年度実績及び令和２年度計画について報告があった。
- 学外委員から、事業に参加する企業で製品検査のトラブルがあったが、計画に影響があるのか質問があった。学長から、これまで通り事業を進めることを前提に県や内閣府と協議しているとの回答があった。

報告事項（４）令和２年３月卒業・修了者の進路状況について（令和２年５月１日現在）

- 荒瀬理事から、令和２年３月卒業・修了者の進路状況について（令和２年５月１日現在）報告があった。
- 学外委員から、大学院への進学率の低下について質問があった。荒瀬理事から、就職が学生の売り手市場で大学院への進学率に大きく影響しているが、大学院で学んだ学生を必要としている企業を学生に案内していきたいとの回答があった。
- 学外委員から、新型コロナウイルス感染症の影響で県内企業の体力が弱り、今後学生の就職先が減るのではないかと質問があった。荒瀬理事から、４、５月の求人数は、県内外ともに昨年並であるとの回答があった。

報告事項（５）フレックスターム・ギャップターム導入による学生の活動実績について

- 荒瀬理事から、フレックスターム・ギャップターム導入による学生の活動実績について報告があった。
- 学外委員から、フレックスタームを夏休みが伸びただけと感じている学生もいるため、きちんと活動してもらうためにPRが必要ではないか、また、経済的に余裕がないと制度を十分に活用できないため、支援制度を考えてはどうかとの意見があった。荒瀬理事から、フレックスタームは授業期間の活動であるため、そのことを含めて周知していくことが必要と考えていること、また、経済的な支援制度については今後検討していきたいとの回答があった。

報告事項（６）附属病院運営状況について

- 井川理事から、附属病院運営状況について報告があった。

報告事項（７）国立大学法人島根大学ハラスメント対策規程の制定について

- 藤田理事から、国立大学法人島根大学ハラスメント対策規程の制定について報告があった。

- 学外委員から、相談件数の増加について、4つのハラスメントに分類したときにそれぞれの件数はどうなっているのか、また、教員と学生間の教育上の相談はその他のハラスメントとして整理されていくのか質問があった。藤田理事から、教員と学生間の教育指導上の相談については、教育指導上の不備なのかパワハラなのか境界線をどう見るかで変わってくるため、どの類型とするのかは事案によるとの回答があった。

最後に学長から、前回の経営協議会で学外委員から提案のあったマスコミ関係者との懇談会を夏頃までに開催したいと考えているとの報告があった。